

## コロナ禍の修羅場をくぐり抜けて・・・ ～それでも観光は可能性が大きな産業です！

東 良 和  
(沖縄ツーリスト株式会社)  
代表取締役CEO



### 【会社の沿革】

弊社沖縄ツーリスト（OTS）は沖縄が日本に復帰する14年前の1958年、戦後の慰霊墓参団の受入れと沖縄に駐留する米軍関係者の旅行のお手伝いをするを目的に沖縄県那覇市に誕生しました。

1966年には、首都圏で「沖縄旅行」の独自流通を確立するため東京に営業所を開設しました。それにより首都圏での集客から沖縄での受入れまで一貫して自社でできるようになりました。

1970年には琉球政府の許可を受け、沖縄初のレンタカー『OTSレンタカー』を開設しました。鉄道が無く公共交通機関での自由旅行が難しい沖縄での大切な移動手段となりました。

1990年代からは台湾・香港を中心としたアジア圏からの受け入れに力を入れ、沖縄のみならず日本のインバウンド観光の先駆けとして業界を牽引してきました。

1997年にメディア商品として誕生した国内個人型旅行『らんらんツアー』は発売当初から人気を博し、これまでに300万人のお客様にご利用いただいています。ANA・JALの予約システムと直接接続している国内でも数少ない旅行サイトで、現在はWEB商品として定着しています。また、らんらんツアーでは毎年6月から10月までの台風シーズンに、天候等による航空機欠航によるホテル延泊代金を補償するなど、ユニークな保険やサービスが付いてお客様から支持されています。

2020年の新型コロナウイルス感染症の影響による創業以来の経営危機については後述しますが、お客様、お取引先様のご支援と社員の頑張りのおかげで奇跡的な回復を成し遂げることができました。関係者の皆さまに心からの感謝を申し上げます。

### 【経営理念】

「旅」をとおして、お客様、地域社会、一緒に働く仲間たち、すべてのQOL（Quality of Life：生活の質・人生の質）向上に貢献できる企業を目指します。

観光は、  
交流により相互理解を深め平和な世界を築きます  
地域の自然や伝統文化を大切にします  
地域経済の発展に貢献します

### 【コロナ禍の企業経営】

2020年の新型コロナウイルス・パンデミックで、観光事業を主軸とするOTSは甚大な損失を被りました。同年は東京オリンピックの開催が予定されていた年で、それに合わせてOTSの強

みである訪日旅行をさらに強化するために海外の現地法人に投資をしたり、人員を増やしたりしていました。ですから、感染拡大による移動の制限は、まさにカウンターパンチとなり2年半で43億円という巨額の営業損失を出しました。その間、国内旅行は8～9割減となり、海外からのお客様はゼロになりました。(那覇空港国際線は2年7ヵ月完全閉鎖)

債務超過額22億円は企業規模からすると絶望的な数字でしたが、商工中金那覇支店を中心とする金融団が沖縄観光およびOTSの復活を信じ、資金繰りを支えてくれました。資産売却を含む出来る限りの財務体質の強化と収益性の高いビジネスモデルへの集中など、経営改善を推し進め、旅行需要が回復した2022年6月には月次で黒字に転換しました。那覇空港国際線が再開した同年10月からは訪日旅行も復活し24年2月には22億円の債務超過を解消することができました。

観光産業は巨大な「外需」を相手にしている産業ですから、人為的に人の流れを止めていたコロナ禍が明けると堰を切ったように復活しました。移動制限のある環境下では本当に苦しい時を強いられましたが、OTSのV字回復が示すところは観光産業が実はとても強靱な産業であるということ、今後も観光産業のノビシロは大きいということだと考えています。

### 【デジタル事業の展開：公共施設予約管理のDX化を支援する『SPMクラウドシステム』】

会議やイベントを総称するMICE (Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition) は近年、多くの旅行会社が力を入れている総合的なビジネス領域です。OTSも永きに渡り専門部署を設け、国内外の多くのイベントを扱ってきました。その中でも国際的なスポーツイベントである『Corporate Games』は英国本社からライセンスを取得し3年間、沖縄の地で開催しました。その実績と経験から開発されたシステムが、公共施設予約管理のDX化を支援する『SPMクラウドシステム』です。2024年9月現在、全国23拠点205施設(沖縄県内94施設、本土地区111施設)で導入されています。

### 【SDGsの取組みについて】

沖縄県は令和5年『おきなわSDGs認証制度』を立ち上げました。OTSは認証制度立ち上げの構想段階から関わり、第1回目の認証11団体の1社になりました。

2022年からは企業としてユネスコSDGsパスポートの普及に取組み、社内はもちろん地域の子どもたちや市民のボランティア活動への参加をあと押ししています。

レンタカー部の『OTSレンタカー』は脱炭素を目指し、2023年5月から沖縄電力グループと提携し太陽光発電を開始しました。EV車の導入を進めるとともに、その先を見据え、水素燃料車の調査も始めています。

### 【健康経営への取組み】

OTSは4年連続で健康経営優良法人ブライツ500(経済産業省)に選定されています。2016年から健康経営推進室を設置し、社員・役員の健康こそ社業の発展につながるという理念で進めてきました。2020年に「全社員非喫煙者」という目標を達成したことも自慢のひとつです。

### 【最後に】

デジタル技術の発達で世界中どこにいても情報発信ができるようになりました。また、企業規模の大きさもあまり意味を持たなくなってきました。私たちのような地方の中小企業こそ、その優れた商材・ノウハウを積極的に世界に発信することで成長への道が拓けると信じています。

本年も皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。